

平成25年3月26日

秩父広域市町村圏組合新火葬場建築設計プロポーザル審査報告書

秩父広域市町村圏組合
新火葬場建築設計選定委員会
委員長 大島博明

1 業務概要

- (1) 業務名 秩父広域市町村圏組合新火葬場建築設計業務
- (2) 業務内容 基本設計業務及び実施設計業務
- (3) 選定方式 公募型プロポーザル
- (4) 発注者 秩父広域市町村圏組合管理者 久喜邦康

2 選定委員会

適正かつ、公平に業者を選定するため、学識経験者、地元町会代表者、構成市町代表者及び本組合職員による秩父広域市町村圏組合新火葬場建築設計業務選定委員会を設置しました。

- (1) 第1回選定委員会 平成24年11月22日(木)
内容 プロポーザル要綱、説明書、参加表明作成要領の決定
- (2) 第2回選定委員会 平成25年1月23日(水)
内容 参加表明者評価要領の説明及び集計結果、技術提案書要請者審査
技術提案評価方法の審査
- (3) 第3回選定委員会 平成25年3月18日(月)
内容 プレゼンテーション、ヒアリング、最優秀者及び優秀者(次点)の決定

3 選定スケジュール

- (1) 募集の公告 平成24年12月19日(水)
- (2) 参加表明書受付締切日 平成25年1月11日(金)
- (3) 技術提案書受付締切日 平成25年2月28日(木)
- (4) 選定実施日 平成25年3月18日(月)

4 審査方法

審査は、本選定委員会が行うこととし、原則として非公開としましたが、後述のプレゼンテーション及びヒアリングは一般公開により実施しました。

なお、技術提案書を評価表に基づいて、的確性、独創性及び実現性などを総合的に判断し審査を行い、最優秀者1者、優秀者(次点)1者を特定しました。

5 選定結果

最優秀者に株式会社 梓設計を選定しました。

6 講評

秩父広域市町村圏組合新火葬場建築設計プロポーザルについて技術提案者を一般公募により募ったところ、3社から参加表明及び技術提案書の提出があり、提案書は本組合の基本計画に即した提案であり、設定したテーマにおいても秩父の葬儀慣習を十分理解され的確性、独創性、実現性を有する提案となっていました。プレゼンテーション及びヒアリングは秩父圏域住民を対象に公開ヒアリングとして行いました。委員会における各評価は次のとおりです。

A社については、①火葬場を「別れ・悲しみ」の空間と「癒し・安らぎ」の空間に分けながら、秩父の自然に還る〈森の斎場〉とするテーマ性に優れている。②秩父らしさへの理解度が高い。以上のことが高い評価をされました。しかし、①集塵機械室が1階での設置であることから、臭気及び騒音対策上の検討が必要であり、設備計画上の不安定要素がある。②火葬棟と待合棟に分節化したことにより動線が長い。以上の意見がありました。

B社（株式会社 梓設計）については、①使いやすい諸室構成の考え方。②コンパクトで効率的な動線計画。③待合空間と「里の森」の風景との調和。以上のことが特に高い評価をされました。しかし、①「秩父らしさ」の理解及び独創性のある表現がほしい。以上の意見がありました。

C社については、①縁側空間としての待合室前ロビー（サブロビー）の提案②省エネルギー計画。以上のことが評価をされました。しかし、①「癒し・安らぎ」の空間としての待合が、秩父の里山との関係性が低い。②炉前ホールが1室であり、集中時に同時火葬が出来ない。③動線が長い。以上の意見がありました。

選定委員会においては、諸室構成、動線計画等の使いやすさに重点を置き、審査をした結果、最優秀者に「株式会社 梓設計」を選定しました。

選定の決め手となったのは、コンパクトに収められた諸室構成及び動線計画などであり、会葬者、職員及び葬祭業者などの使う側への細かな配慮が高い評価につながり最優秀者となりました。

本プロポーザルの課題にある『郷土秩父の里山抱かれた「里の森」の火葬場』について、秩父らしさ及び秩父産材の活用等においては、更に協議を重ねる必要があります。

優秀者（次点）については、今回の提案者が3社であったため、発表を控えることとしました。

最後に、本プロポーザルに参加をいただき、貴重な時間を費やしていただきました設計者の皆様には心より感謝を申し上げます。